

話題の新製品を聴く

●出力:75W+75W(8Ω) ●入力インピーダンス:51kΩ(アンバランス)、23kΩ(バランス) ●寸法/重量:W420×H89×D385mm/12kg ●備考:オプションでフォノイコライザーボード(¥65,000)あり。バランス入力HOT=2番ピン ●問合せ先:㈱オーディオファレンス インク ☎042(574)3185

## オーディア Flight 3

¥367,500(税込)

プリメインアンプ



透明度が高く、清々しい。小粋で品のよさを感じる。オーディアから登場したチャンネルあたり75Wのプリメインアンプ

イタリアのオーディオフライト社から比較的手頃な価格のインテグレートッドアンプ、フライト3が登場した。マッシュヴなアルミ削りだし加工のフロントパネルには、シンプルな操作部と表示部を配置。リモコンでの操作も快適だ。

本機は同社のパワーアンプであるフライト50と同様の電流帰還型出力段が採用されている。電源部はコントロール系と増幅系で独立したトランスを搭載。増幅系には400VA容量のトロイダルトランスと出力段用として72000μFのコンデンサーバンクを備えている。

本機で聴ける音は、いかにも小粋で品のよさがある。音像は適度なサイズで輪郭を鮮明にして提示してくる。例えば、シャーリー・ホーンのヴォーカルは、その音像が肥大せずに現われ、その声質は適度なドライさをもちながらも艶のある滑らかなさを感じさせてくれた。ヘルゲ・リエンのジャズトリオでのベースは、アタックが鮮明でありながら、胴の鳴りも感じさせ、美味しい聴かせどころを巧く出してくれ、その音にひ弱さはない。バスタムやバスタムなどのローエンドで



左側にアンバランス4系統とバランス1系統の入力端子、テープ入力を挟んで、中央にREC OUTとPRE OUTを各1系統、右側にスピーカーターミナル1系統を配置。

●出力:120W+120W(8Ω) ●寸法/重量:W430×H100×D370mm/16kg ●備考:本機はD/Aコンバーター搭載モデル(USB 1系統)。写真の仕上げはパールシルバー、他にブラック仕上げあり。バランス入力HOT=2番ピン ●問合せ先:㈱エレクトロニクス ☎03(3530)6276

## ヘーゲル H100

¥400,000

プリメインアンプ

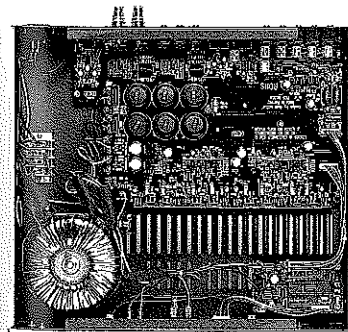


マイルドで甘美。音楽的な雰囲気のよさ。USB入力対応のプリメインアンプ。チャンネルあたり120Wを出力

ノルウェーのヘーゲルからプリメインアンプの新作H100が登場である。同社は我が国に再上陸からまだ2年だが、すでにセパレートアンプ計6モデルのほか、プリメインアンプもH1と上級機H200を擁している。本機は価格もサイズも従来機2モデルの中間にランクされるものだが、さらに従来機にはなかったニュー・ワイヤーチャイも盛り込まれていて注目されそう。

デザインは一連の同社機に共通する、湾曲したシンプルなアルミパネルによる美しい北欧調。従来機H1にほぼ近似の薄型モデルだが、パネル面には上級機H200と同じディスプレイを装備。回路も基本的にはそのH200の特徴を継承だが設計は縮小され、アンプの規模としてはH1と同格と見てよさそう。

しかし搭載機能はH200をも超えるもので、その一つはH200にも搭載の、外部サラウンドシステムとともに使用するための、ホームシアター用入力の装備。さらに本機だけの最新ワイヤーチャイとして盛り込まれたのが、USBオーディオ入力。これはご存じのようにiPodやPCオーディオなど、これからのホーム



フロントパネル左側にトロイダルコア電源トランスを、その隣に出力段のヒートシンクを配置。増幅回路と電源回路は一枚の基板上にレイアウトされている。リアパネル左側には、コンパクトにまとめられたUSB→アナログ変換基板が見える。

オーディオの在り方の一つとして話題になっている、デジタルファイル用入力で再生回路からなるもの。したがってパソコンのUSB出力を本機に接続するだけで、それらを再生することが可能である。

といったことから本機は、家族の皆が思い思いのソースを持ち寄って気軽に楽しむような、アットホームなオーディオが狙いのよう。サウンドも見事にその狙いの的の中で、あまり構えて聴くと少し足元をすくわれた気分にもなりそうだが、しかし気軽に楽しむ気分でも浸り込めば、どの音もじつにマイルドで甘美で、しかも表情豊か。この音楽的な雰囲気は、さすがと絶賛したいほどの出来栄である。このサウンドと、それにこの多機能性によるC/P値は、きわめて高い。

柳沢功力

細谷信二